

## 目標達成計画

作成日: 令和5年4月30日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	10	コロナ禍にて、利用者が家族との面会が禁止されていたため、家族の要望、意見などを聞く機会が減っていた。	全利用者家族に対して、定期的な近況報告を行ない、ホームでの暮らしぶりをしてもらう。また、要望、意見等が言いやすい施設にしていく。	日ごろから、健康状態の観察をしっかりと行い、経過を見ていく。定期的に近況報告が出来るように、写真や記録をとっておく。県外にいる家族などへも対応できるように写真を郵送するなど、工夫をする。自社のホームページを活用し、更新していく。	6ヶ月
	35	夜間帯の災害時に備えるため、夜間帯での災害を想定し、避難訓練等ができていないため、訓練の実施を行なう必要がある	災害時に避難できるよう、全職員が避難訓練に参加し、避難できる方法を身につける	夜間を想定した、少人数での職員体制で避難訓練の実施 消防等の協力を依頼し、専門家立会いの下、訓練を実施する	12ヶ月
3	49	利用者の要望により外出が自由にできない。感染症予防により、外出行事ができていない。	感染対策に注意しながら、利用者の希望に沿って日常的に外出の支援できるようになる	感染症の状況に合わせて、外出が出来るよう外出行事を取り入れていく。利用者の意向を確認し、希望に沿った外出の支援が出来るようになる。また、日ごろから、庭先や駐車場までの散歩を続け、地域の方との関わりも増やしていく	12ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。